

石クリ通信

9月号

電子カルテのこと

院長 石川 悟

医療の現場でコンピュータが最初に使われたのは、医事業務です。窓口の会計計算や診療報酬の請求に威力を発揮しました。その後はオーダーリングと言われるもので、薬の処方箋や検査の指示が、伝票からパソコンに変わりました。使い勝手が悪いソフトウェアが多く、医師の不評を買いました。最近では超音波画像や内視鏡画像もパソコンに保存、カルテ全部を電子化した「電子カルテ」が普及して来ました。当院でも最初から電子カルテを使って、ほとんどペーパーレスでやっています。

電子カルテは「お金がかかる」、「データが消えてしまう危険がある」、「入力に時間がかかる」などの欠点がある、と導入に消極的な意見もあります。当院では非常に快適に電子カルテを使っています。ソフトは東京の開業医吉原正彦先生が開発した「ダイナミクス」と広島の開業医山下郡司先生が開発した画像データベース「RS Base」です。医者が作ったものなので、非常に使い勝手がよく、また経費も信じられないほどかかりません。データが消失しては大変なので、毎日二つのバックアップを作っています。カルテへの入力を医療秘書にやってもう病院もあります。当院では院長自らキーボードを叩いています（三十年以上前からタイプライターを使っていたので、苦になりません）。

電子カルテでは「読めない字がない」「一度入力したデータを再利用できる」「カルテの保管スペースが要らない」など、慣れると業務の効率がよくなります。電子カルテを使う前は紹介状を書くのに時間がかかり、患者さんや家族に後日取りに来てもらうのが当たり前で登録してある医療機関などのデータを使って、迅速に紹介状などを仕上げています。

パソコンの画面ばかり見て顔を见ない、など不評も時々聞かえます。これからも目と目を合わせ、笑顔をやささない診療を心がけたいと思います。

石クリニック ウェブサイト担当者より 事務 石川 香

最近院長がハマっているのは、画像を編集し YouTube（インターネット）に載せること。日々増えて行く石クリニックの院内コンサートの画像を、せかせかとクリニックのウェブサイトにアップするのは、私の仕事の一つです。院長の最新作は、クリニックまでの道のりをビデオで撮ったストーリービューです。6号の北方面／南方面からクリニックまで車で運転した動画には、説明の文字がふわふわ浮かんでいて、なんともいい味が出た作品になりました。ぜひ一度、当院のサイトにアクセスしてみてください。

事務長 石川 都

病は気から？

昔からよく、絶望のあまり亡くなってしまう。などと言われますが、それほどでなくとも、ショックなことや不安があると体も不調になり、逆に体調がよくなって、好きなことや楽しいことに熱中している間はそれを忘れていたりするのは、誰もが経験のあることでしょう。

人の「心と体」の関係を、脳と免疫の働きから解明する精神免疫学によって、心の持ち方や生きる姿勢が身体の状態と深く関わっていることが分かってきました。人は大きなストレスを長期間受けると、体内の免疫力が下がり、体の不調や病気の発症にも繋がると言われます。

いわゆる絶望・不安・悲しみなどのネガティブ（否定的）な情緒は、免疫機能を低下させ、病気の予後にも悪い一方、積極的情緒と言われる希望・愛・信頼などは、免疫力を上げ、身体にも良い影響を与えます。楽観的で自己肯定的な人は、悲観的で孤立した人よりも病気になるににくく、また治療の効果も上がるため、近年では癌患者にも通常の治療に加え、精神的サポートや心のケアに力を入れるようになりまし。

コップ半杯の水も、「半分しかない」「より」まだ半分もある」と考え、徹しい現実の中で頑張っている自分をほめつつ、今できることに目を向け感謝して生きることが、自分も周りの人々をも幸せにする秘訣かもしれません。

敬老の目によせて 看護師 高山 早苗

私の父は今年八十一歳になった。母と結婚する前はタクシの運転手として、結婚してからはバスの運転手として働き、家族を養って来ておし、二十数年のバス運転手時代は無事故でと、本当に運動一筋の父であった。私が高校生の頃はバスと電車の通学だったため母に頼まれてお弁当と同僚の運転手さんに渡し届けることもしばしばあった。今思い出すと父は「耳鳴りがする」とか「腹が張る」とかしょっちゅう言っていた様な気がする。バスの運転はともストレスのたまるものだったのだらう。現在父は片方の耳が聞こえない。脳梗塞や狭心症をのりこえて今も元気に高萩で暮らしている。家族のために一生懸命働いてくれた父に感謝の言葉を贈りたい。

大人になれた日

最近、私の周りは結婚・出産ラッシュです。同級生の友人は2人目が生まれました。また、先日にはいとこの誕生日がありました。姉弟で誕生日が同じため2人同時にお祝いをあげました。お祝い事が続くと、それなりに出費も増えます。今の私には痛い出費でしたが、自分が仕事をし得たお金で友人や家族のお祝いを出来る事が嬉しく、少し誇らしい気持ちになりました。しかし喜んでばかりもいられないので、いつの日か私もお祝いをしてもらえようように頑張ります！

薬剤師 石川 恵

ご無沙汰しております。石川恵です。「頭上注意」と書いてある頭上の看板にほのかな疑問をもっておりまして。なぜならば、その看板を見る人はすでに頭上に目が行っているのです。あつて、足元ばかり見て歩いている私のような輩が頭上の出っ張り力一杯頭をぶつけるのではなからうか。となると、「頭上注意」の看板は足元にこそ必要ではなからうかと、思うわけです。

それはさておき今回は納豆レシピ第二弾。納豆スパゲティをご紹介します。フライパンにバターを溶かしペーコンを炒め納豆・つゆの素を入れ、茹でた麺を加えて完成。適宜野菜を加えても美味。ちなみに納豆の臭みが苦手と言う人にはそのままの納豆にごま油と黒こしょうを加えるだけでも随分違います。是非一度お試しください。

出勤時間に 看護助手 柴田 さち子

毎日の出勤時に、真似の出来ない光景を見ます。スパーの袋にゴミを一つ一つ拾って入れているのです。高齢者の方が職場に向かう途中なのでしょう。今、若い人の食べ歩き、一部の人で、若いうちからゴミのポイ捨て、走行している車の中からタバコのポイ捨てが見られます。高齢者の方がゴミを拾っている姿は、若い人の目からどのように見えるのでしょうか。時代の流れとすることなのか、マナーを守れないことは、ちよっと悲しいですね。

事務 森 絵里子

看護師 澤田 彰子

夏休みに北海道旅行に行ってきました。札幌では寿司、富良野ではカレーとおいしいものをたくさん食べてきました。子供たちは、馬に乗ったり、こぐまや赤ちゃんライオンと触れ合うことができ、大興奮でした。

